

医療機関等との協定に係る 事前調査の回答結果と分析について

9月の追加調査の結果も踏まえた分析

令和5年11月1日

宮崎県福祉保健部感染症対策課

1. 調査方法について

◆調査対象

県内の病院、診療所、薬局及び訪問看護ステーション 計1,646件

(内訳)

病院・診療所	薬局	訪問看護ステーション	合計
889件	597件	160件	1,646件

◆実施方法

県の電子申請システム（簡易申請）にてオンラインで回答。

令和5年6月16日に発送。期限は令和5年7月7日まで。

◆調査内容

大きく6項目について調査。※薬局・訪看は3, 6のみ回答を依頼。

1 入院	2 発熱外来	3 自宅療養者への医療の提供
4 後方支援	5 人材派遣	6 個人防護具の備蓄

●追加調査について（令和5年9月4日～9月15日に実施）

- (1) 初回の調査で、外来対応医療機関からの回答が少ない点が課題として挙げられていたため、回答のない外来対応医療機関に対して改めて回答を依頼。
- (2) 前回調査で新型コロナに対応した医療機関の中で、「新興感染症では対応不可」とした医療機関があったため、対応不可とした理由について追加調査を実施。

調査対象医療機関数 (1) 143医療機関 (2) 86医療機関

2. 事前調査の分析について

(1) 回答状況（令和5年10月10日現在） ※追加調査後

合計

	送付件数	回答数	(8/23地点)	割合	(8/23地点)
病院・診療所	889	619 (+87)	532	69.6% (+9.8p)	59.8%
うち入院受入医療機関	51	51	51	100.0%	100.0%
うち外来対応医療機関	499	439 (+87)	352(※)	88.0% (+17.4p)	70.5%
薬局	597	407	407	68.2%	68.2%
訪看	160	104	104	65.0%	65.0%
合計	1646	1130 (+87)	1043	68.7% (+5.3p)	63.4%

※8/23時点の外来対応医療機関数については、精査の結果修正している。

圏域別（病院・診療所のみ）

	送付件数 (病院・診療所)	回答数	(8/23地点)	割合	(8/23地点)
宮崎東諸県	406	275 (+31)	244	67.7% (+7.6p)	60.1%
日南串間	60	39 (+3)	36	65.0% (+5.0p)	60.0%
都城北諸県	147	99 (+15)	84	67.3% (+10.2p)	57.1%
西諸	52	42 (+9)	33	80.8% (+17.3p)	63.5%
西都児湯	66	42 (+9)	33	63.6% (+13.5p)	50.0%
日向入郷	59	40 (+7)	33	67.8% (+11.9p)	55.9%
延岡西臼杵	99	82 (+13)	69	82.8% (+13.1p)	69.7%
県合計	889	619 (+87)	532	69.6% (+9.8p)	59.8%

- ・ 外来対応医療機関に指定されている医療機関の回答は70%→88%となったため、ほとんどの医療機関から回答が得られた。

2. 事前調査の分析について

(2) 各項目の結果と分析

【①入院】

全体数

項目	目標単位	流行初期		流行初期以降		
		目標の目安 (新型コロナ2020年12月の入院病床数)	集計結果	目標の目安 (新型コロナ2022年12月までの最大値の体制)	集計結果	(8/23地点)
①入院	床	102 (第3波ピーク時)	236	415	429 (+14)	415

圏域別

	流行初期				流行初期以降					
	新型コロナ 2020年12月確保病床		集計結果		新型コロナ 2022年12月確保病床		集計結果		(8/23地点)	
	医療機関数	病床数	医療機関数	病床数	医療機関数	病床数	医療機関数	病床数	医療機関数	病床数
宮崎東諸県	7	103	12	84	14	161	20 (+1)	147 (+8)	19	139
日南串間	1	10	3	13	4	22	4	31	4	31
都城北諸県	6	46	7	43	6	64	9	58	9	58
西諸	3	16	5	20	8	31	11 (+3)	32 (+4)	8	28
西都児湯	4	13	6	19	2	23	7 (+1)	32 (+1)	6	31
日向入郷	1	18	4	22	3	35	5	33	5	33
延岡西白杵	4	40	9	35	7	79	16 (+1)	96 (+1)	15	95
県合計	26	246	46	236	44	415	72 (+6)	429 (+14)	66	415

- ・流行初期は、限られた医療機関で対応するため、改めて関係医療機関と協議していく予定。
- ・流行初期以降の病床数は、追加調査によって目標目安を上回ったため、目標数を今後検討する必要がある。
- ・圏域別では、医療機関数、病床数とも新型コロナ対応時よりも上回っている圏域もあれば、そうでない圏域もあり、そのような圏域ではさらなる上積みが必要。

2. 事前調査の分析について

(2) 各項目の結果と分析

【②発熱外来】

全体数

項目	目標 単位	流行初期		流行初期以降		
		目標の目安 (新型コロナ2020年12月の数値)	集計結果	目標の目安 (新型コロナ2022年12月までの最大値の体制)	集計結果	(8/23地点)
②発熱外来	機関	352	247	447	369 (+98)	271

圏域別

	流行初期		流行初期以降		
	新型コロナ 2020年12月 外来対応数	集計結果	新型コロナ 2022年12月ま での 最大外来対応数	集計結果	(8/23地点)
宮崎東諸県	123	100	169	145 (+35)	110
日南串間	30	21	38	29 (+6)	23
都城北諸県	49	33	67	53 (+16)	37
西諸	36	18	38	27 (+8)	19
西都児湯	36	23	40	30 (+8)	22
日向入郷	29	17	35	28 (+7)	21
延岡西臼杵	49	35	60	57 (+18)	39
県合計	352	247	447	369 (+98)	271

- ・流行初期は限られた医療機関で対応するため、改めて関係医療機関と協議をしていく予定。
- ・追加調査によって、「対応不可」から「対応可」と変更した医療機関があった。
- ・流行初期以降は追加調査によって医療機関数が増加したが、目標の目安に対し乖離があるため、新型コロナ対応時の最大時の体制を目指して積み上げていく必要がある。

2. 事前調査の分析について

(2) 各項目の結果と分析

【③自宅療養者への医療の提供】

全体数

項目	目標単位	流行初期以降		
		目標の目安 (新型コロナ2022年12月 までの最大値の体制)	集計結果	(8/23地点)
③自宅療養者等への医療の提供				
医療機関	機関	4項目のうち、1つでも対応可 (自宅療養者、宿泊療養者、高齢者、障害者)	208 (+36)	172
		往診チーム 102	142 (+21)	121
		高齢者施設往診 ※重複あり 105	164 (+29)	135
訪問看護		70	70	70
薬局		事前調査を基に設定	299	299

※前回資料から「4項目のうち、1つでも対応可」を追加。

圏域別

	病院・診療所				訪看	薬局
	高齢者・障害者	(8/23地点)	自宅療養者	(8/23地点)		
宮崎東諸県	48 (+8)	40	66 (+11)	55	30	131
日南串間	13 (+1)	12	12 (+2)	10	3	22
都城北諸県	20 (+3)	17	20 (+5)	15	17	42
西諸	13 (+3)	10	17 (+8)	9	8	26
西都児湯	10 (+1)	9	13	13	5	13
日向入郷	12 (+1)	11	11	11	3	23
延岡西臼杵	26 (+4)	22	25 (+3)	22	4	42
県合計	142 (+21)	121	164 (+29)	135	70	299

- ・医療機関の集計については、目標の目安を高齢者・障害者への往診の合計と、自宅医療に対する協力医師の合計の2つに分け、それぞれに対応する項目の集計結果と比較。
- ・新型コロナ対応時の最大値を上回っており、追加調査によって医療機関数も増加したため、今回の集計結果を見据えた目標設定を行う。
- ・圏域別ではバラツキもあるため、地域に応じてさらなる検討が必要。

2. 事前調査の分析について

(2) 各項目の結果と分析

【④後方支援】

全体数

項目	目標 単位	流行初期以降		
		目標の目安 (新型コロナ2022年12月 までの最大値の体制)	集計結果	(8/23地点)
④後方支援	機関	68	98 (+12)	86

※前回資料では、集計結果に「無床診療所」が含まれており、後方支援が病床を持つ医療機関での対応項目となるため、今回は「病院・有床診療所」のみの数字で集計。それに伴い、8/23地点の数字も修正。

圏域別

	医療機関数	(8/23地点)
宮崎東諸県	27 (+4)	23
日南串間	6	6
都城北諸県	20 (+2)	18
西諸	10 (+3)	7
西都児湯	10 (+1)	9
日向入郷	10	10
延岡西臼杵	15 (+2)	13
県合計	98 (+12)	86

- ・ 後方支援については、新型コロナ時の対応をもとにした目標を上回っているため、今後目標について検討する必要がある。
- ・ 追加調査によって、医療機関数が増加した。

2. 事前調査の分析について

(2) 各項目の結果と分析

【⑤人材派遣】

全体数

項目	目標 単位	流行初期以降	
		目標の目安 (新型コロナ2022年12月 までの最大値の体制)	集計結果
⑤人材派遣	人	事前調査を基に設定	60

圏域別

	医療機関数	人数	圏域別						
			うち医師	うち医師 DMAT	うち医師 DPAT	うち看護師	うち看護師 DMAT	うち看護師 DPAT	うち災害 支援ナース
宮崎東諸県	7	25	5	4	1	20	6	1	6
日南串間	1	3	1	1	0	2	2	0	0
都城北諸県	2	15	3	2	0	12	8	0	0
西諸	1	4	0	0	0	4	0	0	4
西都児湯	2	3	0	0	0	3	1	0	2
日向入郷	1	2	0	0	0	2	1	0	1
延岡西臼杵	3	8	3	3	0	5	4	0	1
県合計	17	60	12	10	1	48	22	1	14

- ・ 人材派遣については、国の目標（医師約2,100名、看護師約4,000名）を念頭に、今後検討する必要がある。
- ・ 追加調査では人数に変更無し。

2. 事前調査の分析について

(2) 各項目の結果と分析

【⑥個人防護具の備蓄】

全体数

⑥個人防護具の備蓄	目標 単位	病院・診療所		訪看	薬局 (個人防護具の協定は任意のため参考値)		合計 (薬局除く)	
			(8/23地点)			(8/23地点)		
項目①～⑤1つでも入力あり (協定締結が見込まれる先)	機関	415 (+74)	341	70	299	485 (+74)	411	
うち2ヶ月以上備蓄		278 (+49)	229	47	134	325 (+49)	276	
割合		67.0% (-0.1p)	67.2%	67.1%	44.8%	67.0% (-0.2p)	67.2%	

注) ⑥個人防護具備蓄の目標目安は、協定締結医療機関のうち【8割以上】の施設が当該施設使用量【2ヶ月分以上】にあたるPPEを備蓄すること。

圏域別

	病院・診療所						訪看			合計 (薬局除く)	うち 2ヶ月 以上 備蓄	割合	(8/23地点)		
	項目①～⑤ 一つでも 入力あり	うち2ヶ月 以上備蓄	割合	(8/23地点)			項目①～⑤ 一つでも 入力あり	うち 2ヶ月 以上 備蓄	割合				合計 (薬局除く)	うち 2ヶ月 以上 備蓄	割合
				項目①～⑤ 一つでも 入力あり	うち2ヶ月 以上備蓄	割合									
宮崎東諸県	167 (+25)	110 (+20)	65.9% (+2.5p)	142	90	63.4%	30	20	66.7%	197 (+25)	130 (+20)	66.0% (+2.0p)	172	110	64.0%
日南串間	31 (+4)	21 (+2)	67.7% (-2.6p)	27	19	70.4%	3	3	100.0%	34 (+4)	24 (+2)	70.6% (-2.7p)	30	22	73.3%
都城北諸県	60 (+10)	40 (+5)	66.7% (-3.3p)	50	35	70.0%	17	10	58.8%	77 (+10)	50 (+5)	64.9% (-2.2p)	67	45	67.2%
西諸	29 (+9)	16 (+5)	55.2% (+0.2p)	20	11	55.0%	8	6	75.0%	37 (+9)	22 (+5)	59.5% (-1.3p)	28	17	60.7%
西都児湯	34 (+8)	22 (+5)	64.7% (-0.7p)	26	17	65.4%	5	4	80.0%	39 (+8)	26 (+5)	66.7% (-1.1p)	31	21	67.7%
日向入郷	32 (+6)	22 (+3)	68.8% (-4.3p)	26	19	73.1%	3	2	66.7%	35 (+6)	24 (+3)	68.6% (-3.8p)	29	21	72.4%
延岡西臼杵	62 (+12)	47 (+9)	75.8% (-0.2p)	50	38	76.0%	4	2	50.0%	66 (+12)	49 (+9)	74.2% (+0.2p)	54	40	74.1%
県合計	415 (+74)	278 (+49)	67.0% (-0.2p)	341	229	67.2%	70	47	67.1%	485 (+74)	325 (+49)	67.0% (-0.1p)	411	276	67.2%

※薬局の二次医療圏集計は協定が任意のため省略

- 追加調査によって、医療機関は増加したが、協定締結医療機関 (= 項目1つでも入力ある医療機関) の8割以上で2ヶ月以上の備蓄という目標からは約10ポイントの開きがあるため、2ヶ月以上の備蓄の呼びかけを行っていく必要がある。

2. 事前調査の分析について

(3) 新型コロナ外来対応医療機関への追加調査の結果と分析

【「新興感染症では外来対応不可」とした理由】

項目	医療機関数	回答率
新興感染症がどのような疾病なのか不明であり、実際対応できるか不安であるため	22	52%
対応する医師や看護師等が不足しているため	26	62%
新興感染症に対応する施設及び設備が不十分であるため	24	57%
補助金や診療報酬の上乗せなど、財政上の支援が明確に示されていないため	6	14%
実際にはコロナの発熱外来を行ったことがないため	4	10%
その他	9	21%
(理由) <ul style="list-style-type: none">・がん専門医療機関として化学療法などの患者を多く受け入れており、流行初期以降から発熱外来の対応は不可能なため。・呼吸器疾患以外の新興感染症であった場合に対応が難しいため・PCR検査の機器がなく、検査できないため		

(計 4 2 医療機関から回答あり)

- ・新興感染症の性質が分からないことによる不安、対応スタッフの不足、施設や設備の不十分といった回答が半数以上を占めていた。
 - ・その他の理由で、病院の性質上早い段階からは難しいといった意見があった。
- (※PCR検査については、自院で検査できなくても検査機関に依頼すれば発熱外来対応自体は可能)